

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2024 年 7-9 月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 257 社から回答があった。景況判断 DI は▲19 となり、前期調査から 7 ポイント悪化した。来期の見通しは▲10 となり、9 ポイント改善する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「従業員の不足」が最も高く、次いで「修理、修繕費等の増加」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感 DI の内訳

前期(2024 年 4-6 月)に対して、

- ・売上高 DI は▲12 で、5 ポイント悪化
- ・処理量 DI は▲15 で、6 ポイント悪化
- ・営業利益 DI は▲18 で、12 ポイント悪化
- ・資金繰り DI は▲2 で、1 ポイント悪化
- ・借入難易度 DI は 11 で、2 ポイント悪化
- ・設備投資 DI は 6 で、1 ポイント改善
- ・従業員数 DI は 1 で、同水準
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 9 で、1 ポイント悪化
 処分が 5 で、6 ポイント悪化

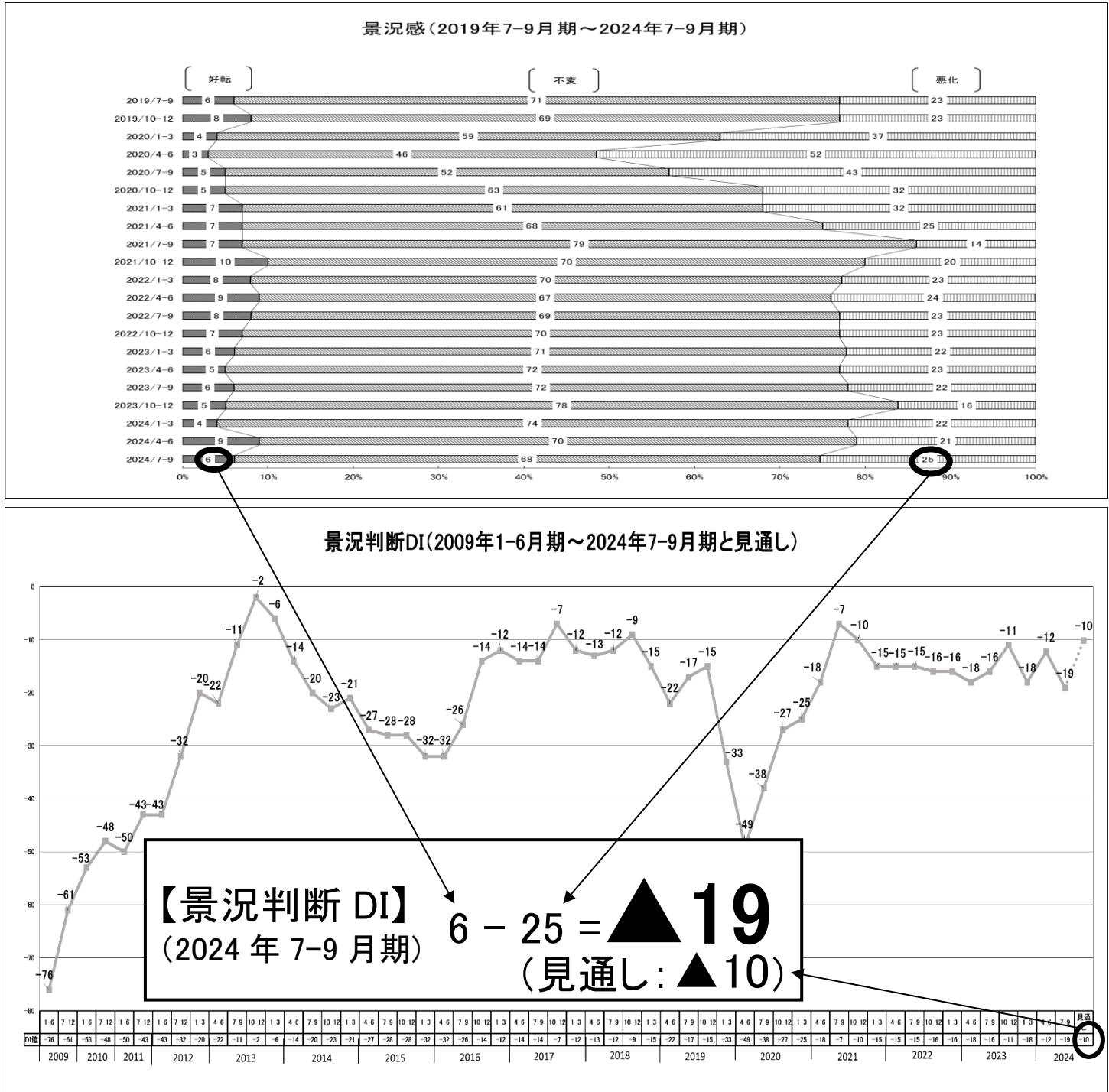
- 売上高の動向については、前年同期比で 3.7% 減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で 6.4% 減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で 2.3% 減となった。

※DI とはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

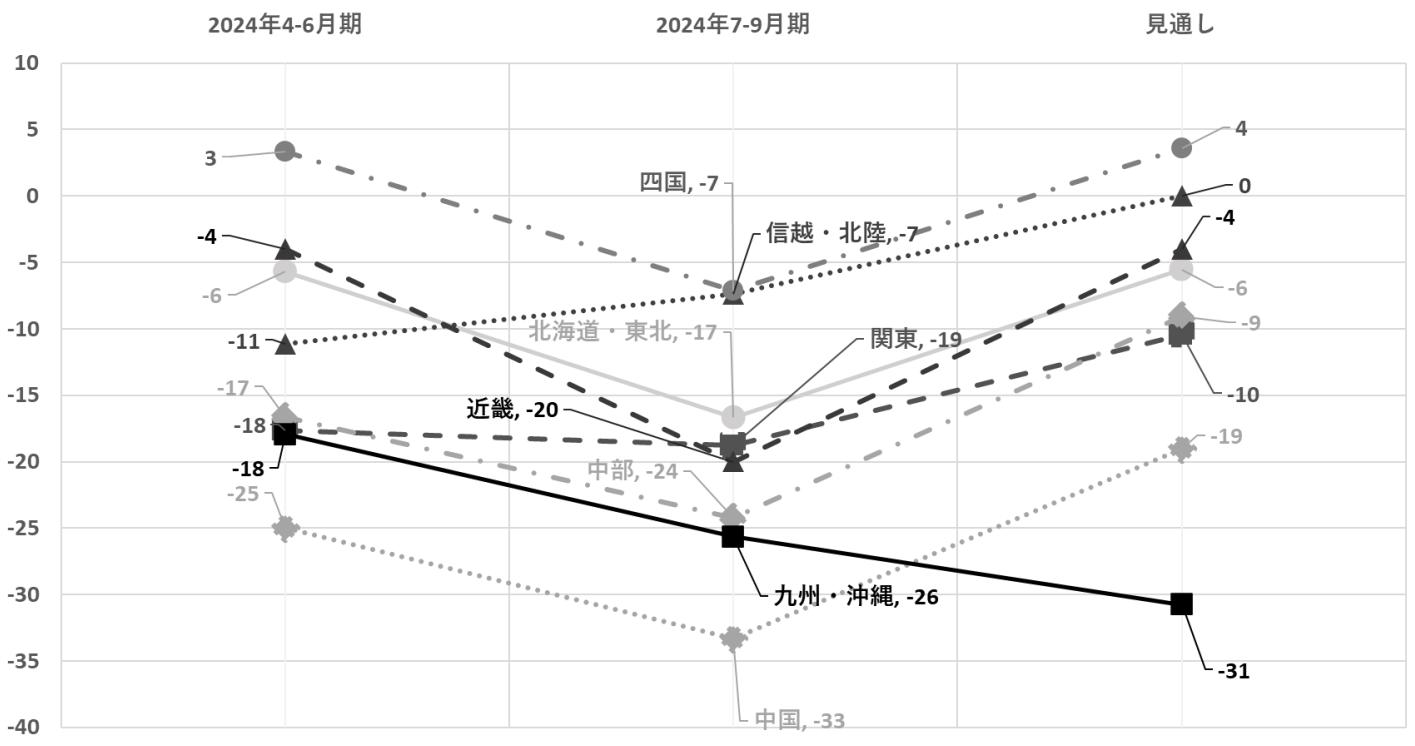
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」・「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲19 となり、前期から 7 ポイント悪化した。
見通しは▲10 となり、9 ポイント改善する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「信越・北陸」が改善した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「九州・沖縄」のみが悪化する見込みとなっている。
(3 ページ参照)



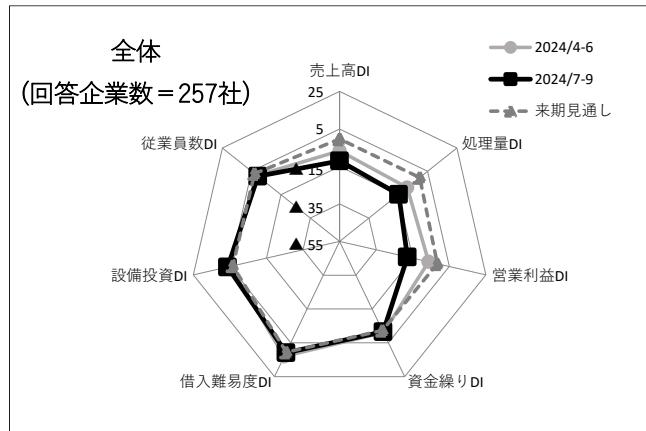
地域別景況判断 DI



	全体平均	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2024年4-6月期	-12	-6	-18	-11	-17	-4	-25	3	-18
2024年7-9月期	-19	-17	-19	-7	-24	-20	-33	-7	-26
見通し	-9	-6	-10	0	-9	-4	-19	4	-31

(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

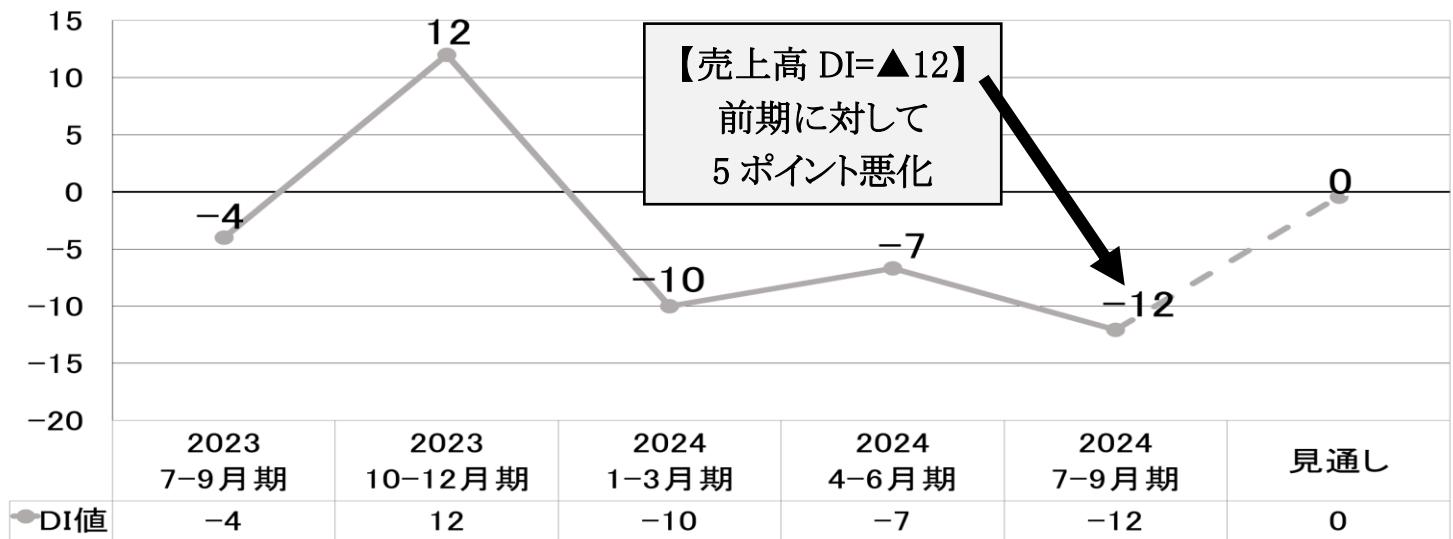
- 前期から設備投資 DI が改善した。
- 見通しは、設備投資 DI が悪化する見込みとなっている。



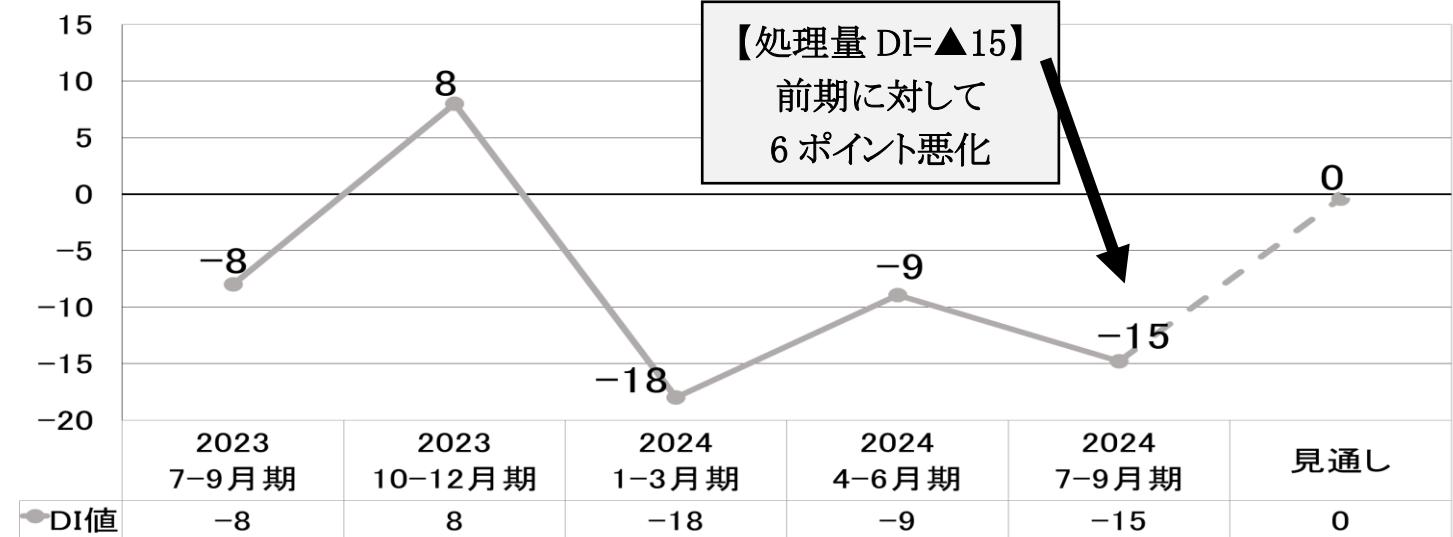
以下詳細(5~7 ページ参照)

- ・売上高 DI は▲12 となり、前期と比べて 5 ポイント悪化した。
見通しは 0 となり、12 ポイント改善する見込み。
- ・処理量 DI は▲15 となり、前期と比べて 6 ポイント悪化した。
見通しは 0 となり、15 ポイント改善する見込み。
- ・営業利益 DI は▲18 となり、前期と比べて 12 ポイント悪化した。
見通しは▲2 となり、16 ポイント改善する見込み。
- ・資金繰り DI は▲2 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは▲2 となり、同水準となる見込み。
- ・借入難易度 DI は 11 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは 11 となり、同水準となる見込み。
- ・設備投資 DI は 6 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは 4 となり、2 ポイント悪化する見込み。
- ・従業員数 DI は 1 となり、前期と比べて同水準となった。
見通しは 3 となり、2 ポイント改善する見込み。

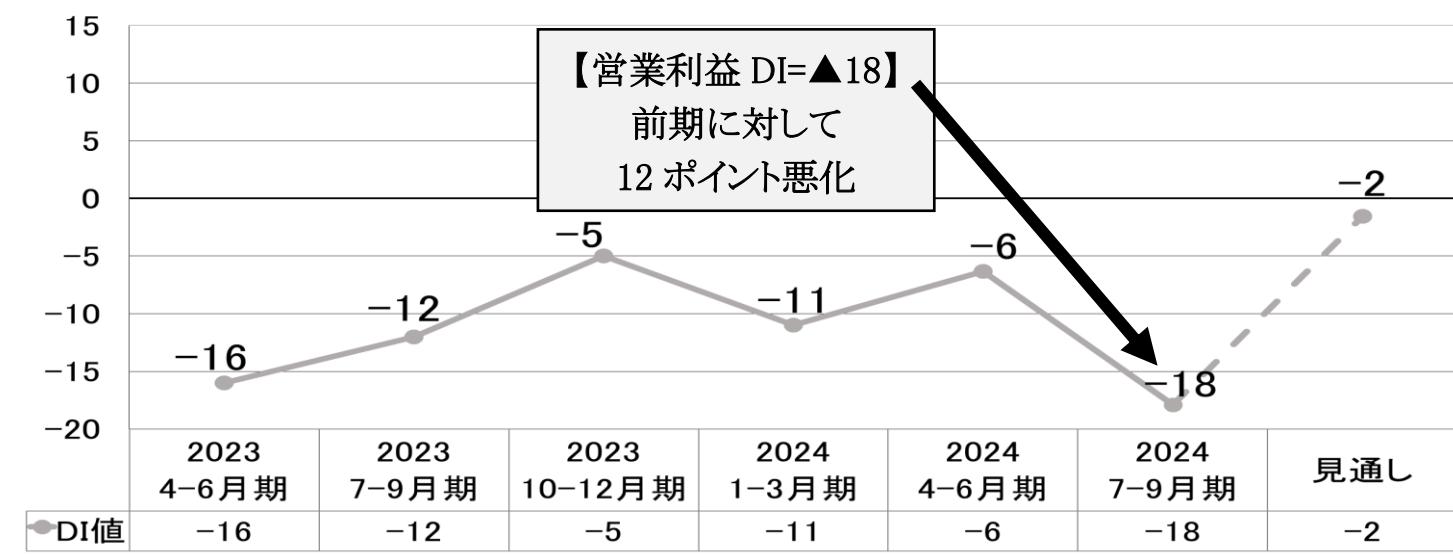
売上高DI (2023年7-9月期～2024年7-9月期と見通し)



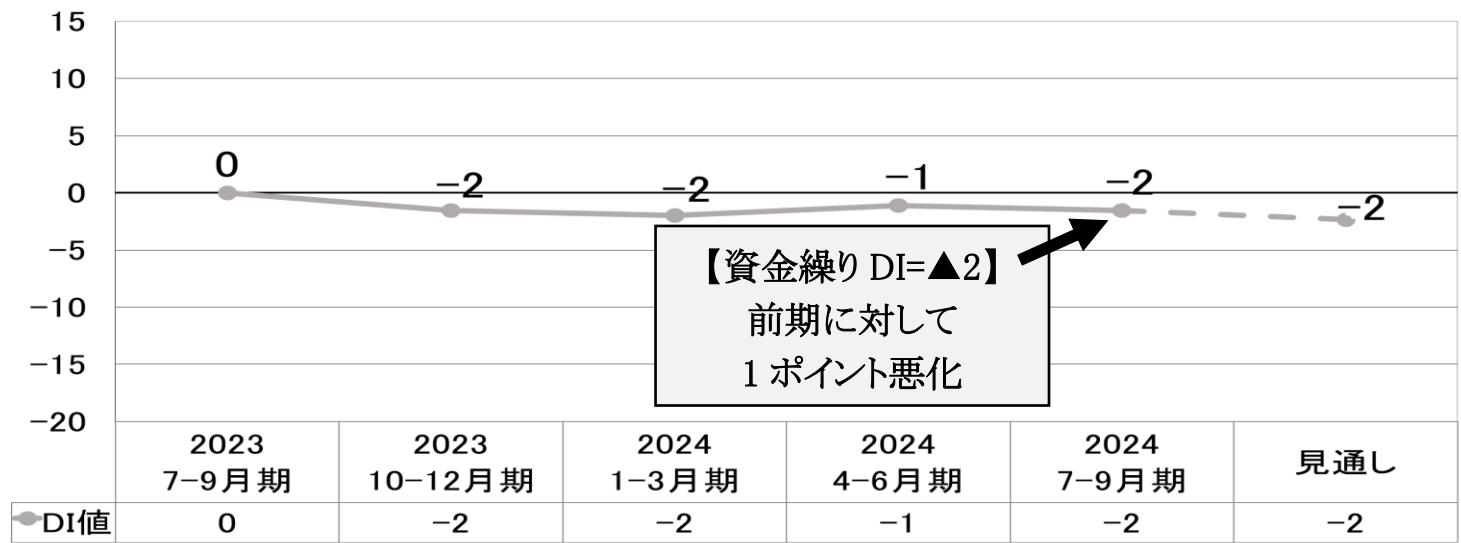
処理量DI (2023年7-9月期～2024年7-9月期と見通し)



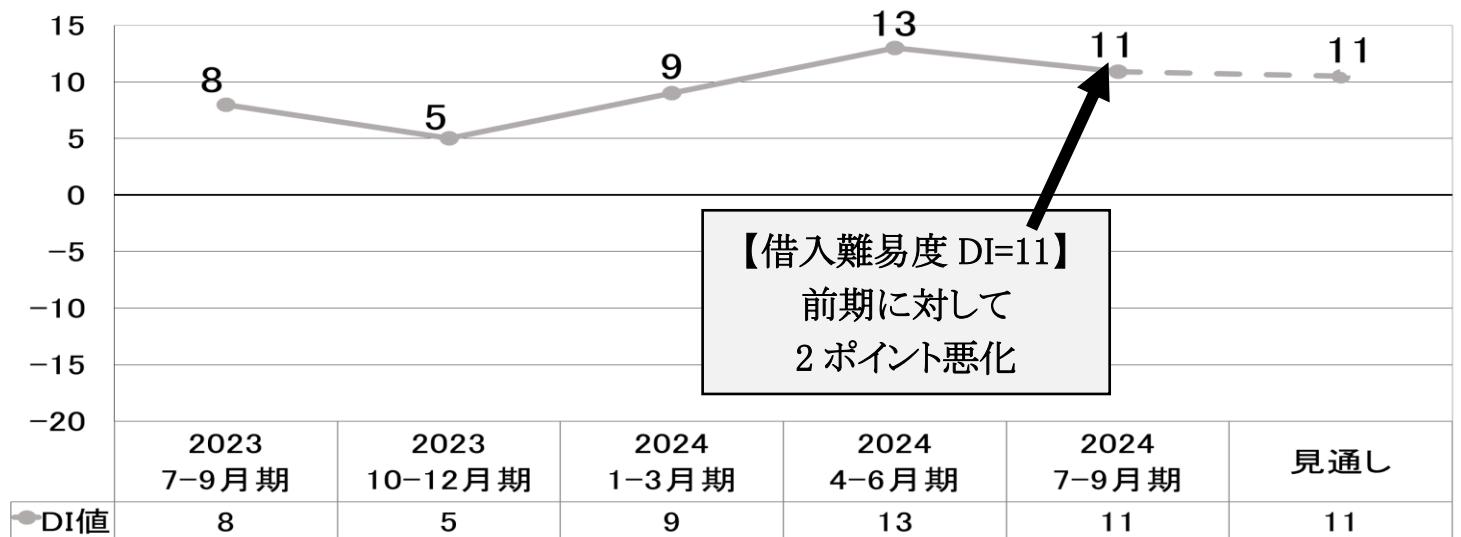
営業利益DI (2023年7-9月期～2024年7-9月期と見通し)



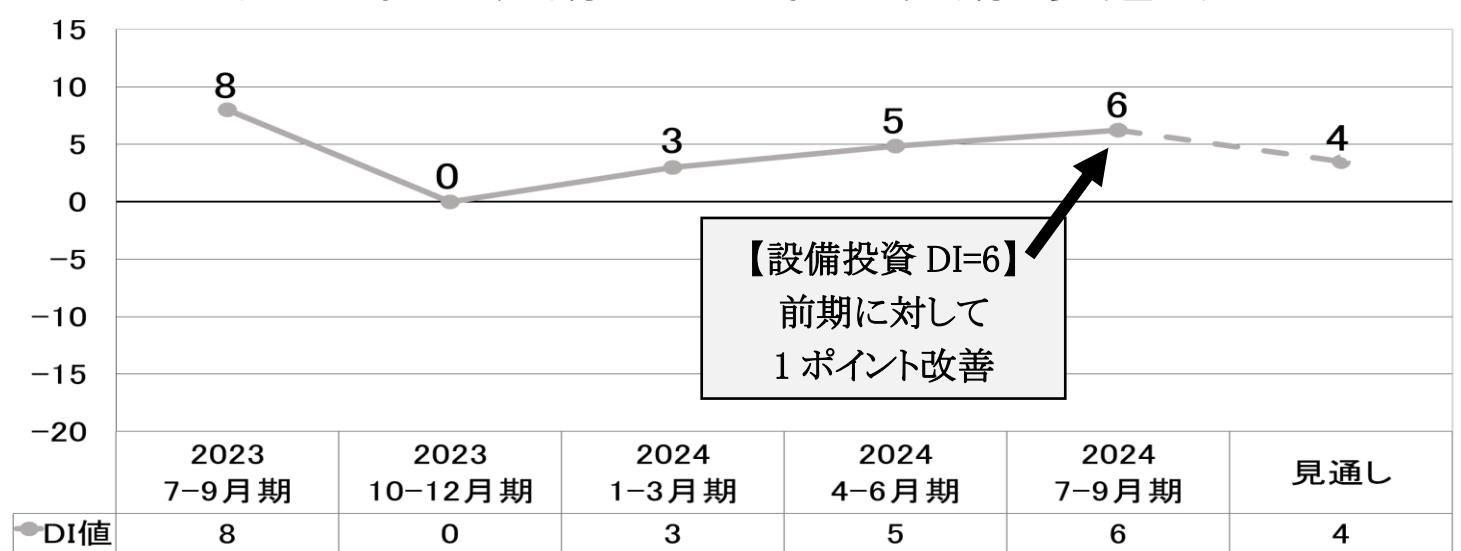
資金繰りDI (2023年7-9月期～2024年7-9月期と見通し)



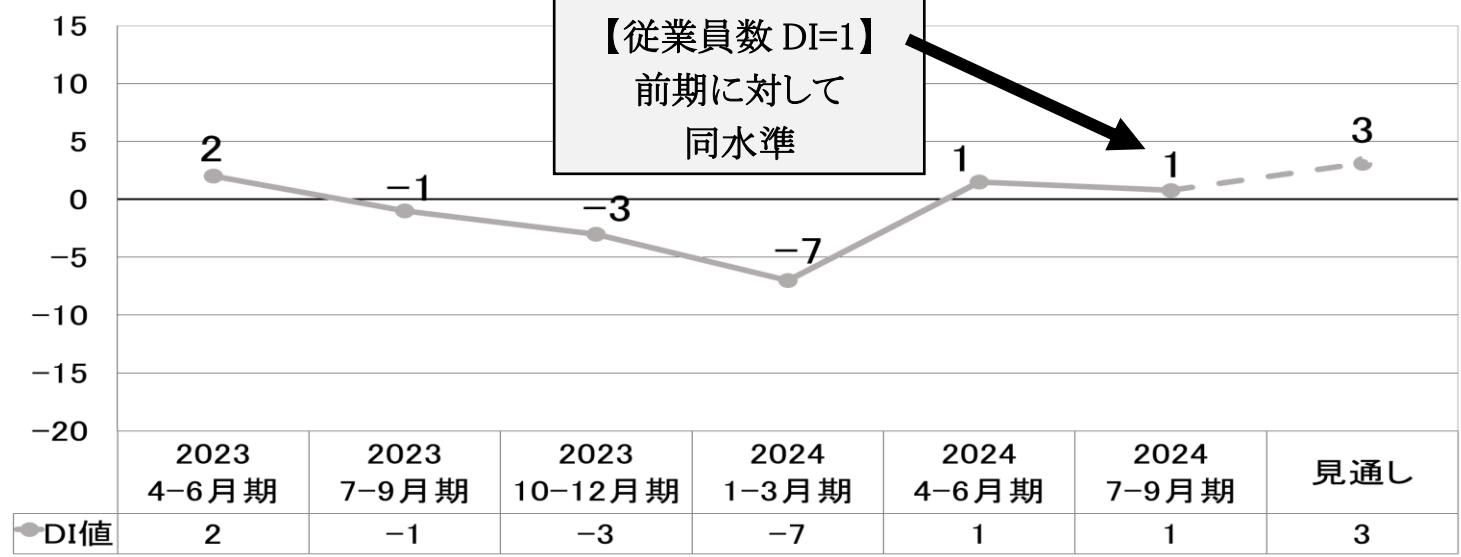
借入難易度DI (2023年7-9月期～2024年7-9月期と見通し)



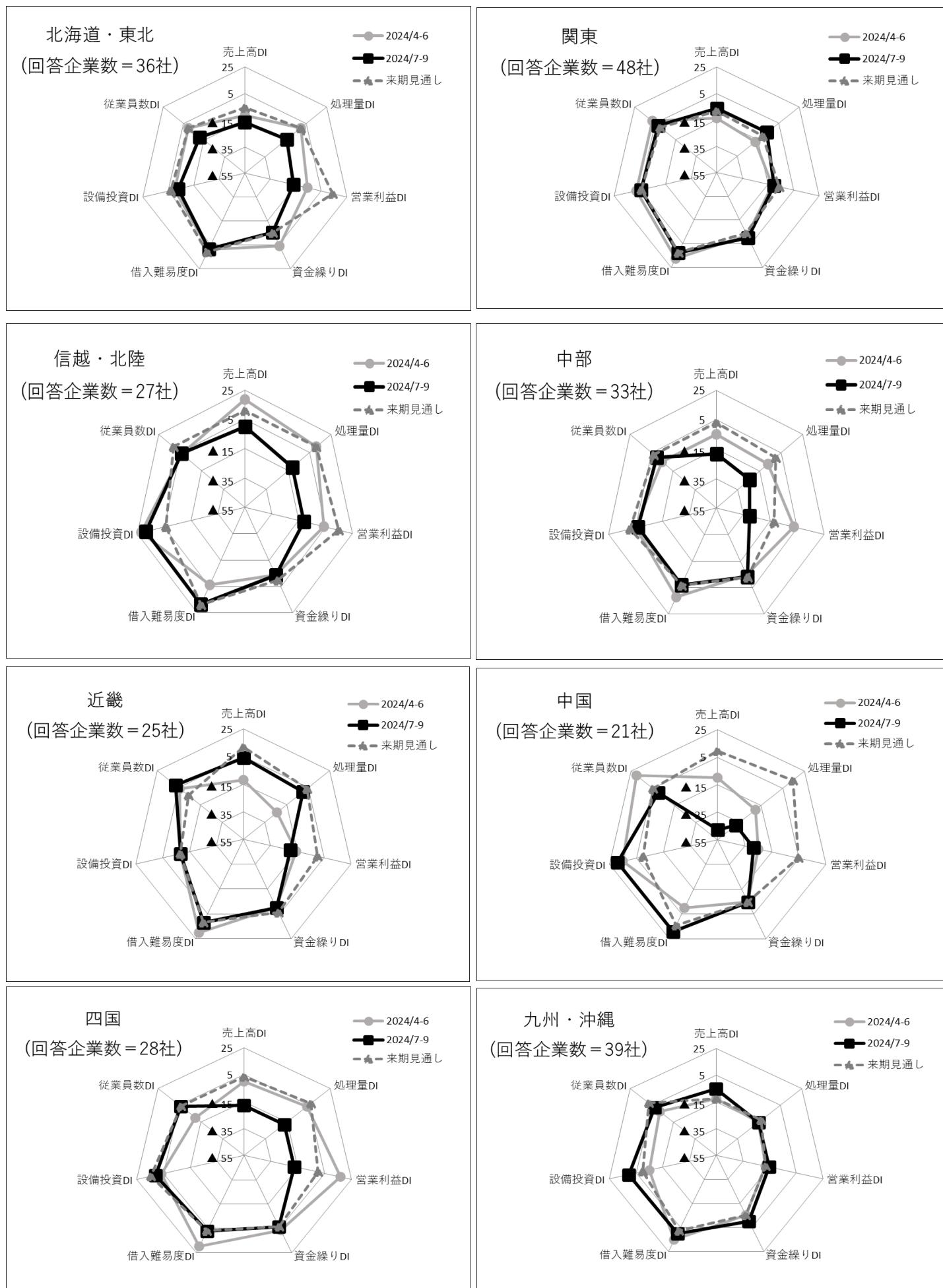
設備投資DI (2023年7-9月期～2024年7-9月期と見通し)



従業員数DI (2023年7-9月期～2024年7-9月期と見通し)

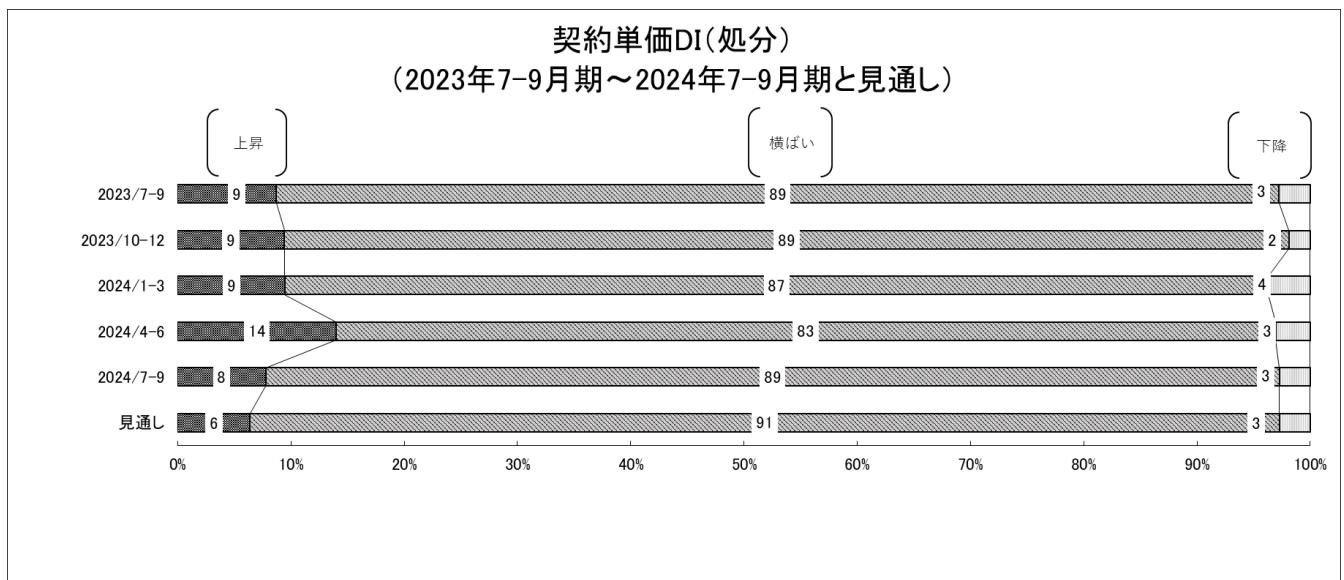
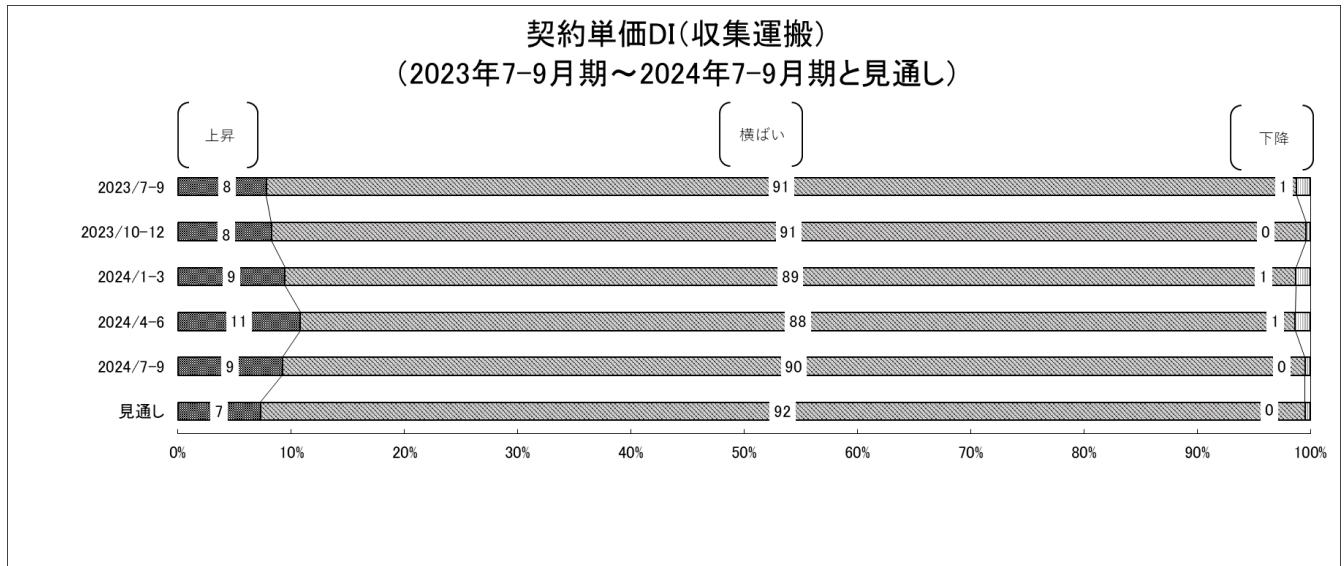


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 9 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは 7 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 5 となり、前期と比べて 6 ポイント悪化した。
見通しは 3 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

- 前年同期比(3ヶ月平均)では、3.7%減となった。

有効回答数:118社

単位:千円

前年売上高	2023年7月	2023年8月	2023年9月	平均
	7,676,038	7,378,137	7,710,072	7,588,082
今年売上高	2024年7月	2024年8月	2024年9月	平均
	7,932,261	6,940,922	7,040,107	7,304,430
前年比	3.3%	▲5.9%	▲8.7%	▲3.7%

3. 処理量の動向

- 前年同期比(3ヶ月平均)では、6.4%減となった。

有効回答数:115社

単位:トン

前年処理量	2023年7月	2023年8月	2023年9月	平均
	364,046	351,833	386,828	367,569
今年処理量	2024年7月	2024年8月	2024年9月	平均
	371,210	310,802	350,179	344,064
前年比	2.0%	▲11.7%	▲9.5%	▲6.4%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

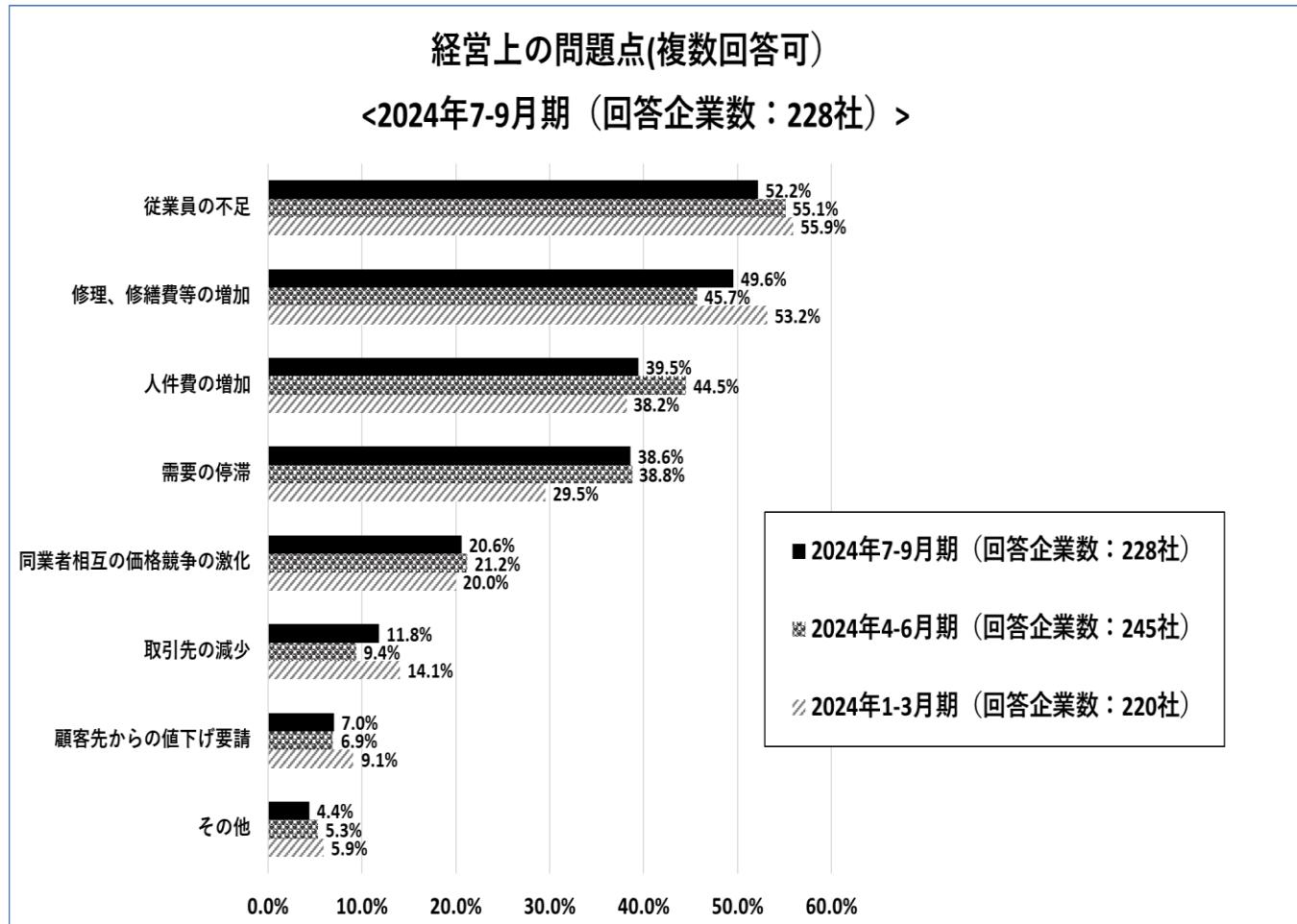
- 経常利益率の平均値は 5.4%となり、前年同期比で 2.3%減となった。

有効回答数:111 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、「従業員の不足」の回答割合が最も高かった。
- 「修理、修繕費等の増加」の回答割合が前期から3.9%増加した。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・光熱費、燃料費、材料費等の高騰
- ・排出業者への値上げ要請対応
- ・木くず入荷量の減少が著しい
- ・請負先の減産
- ・人材育成
- ・環境対策

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2024年10月1日～10月31日

(3) 調査方法

Webによるアンケート

(4) 回答数・回答率

調査依頼企業数 1,251社

回答企業数 257社

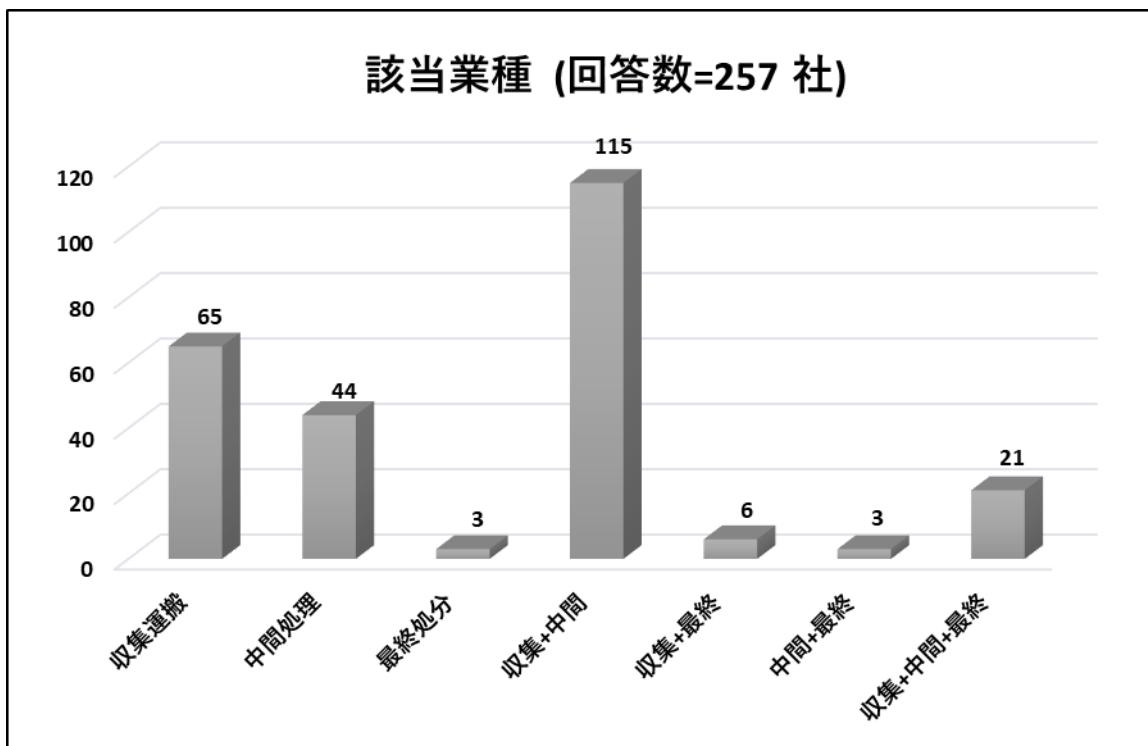
回答率 20%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

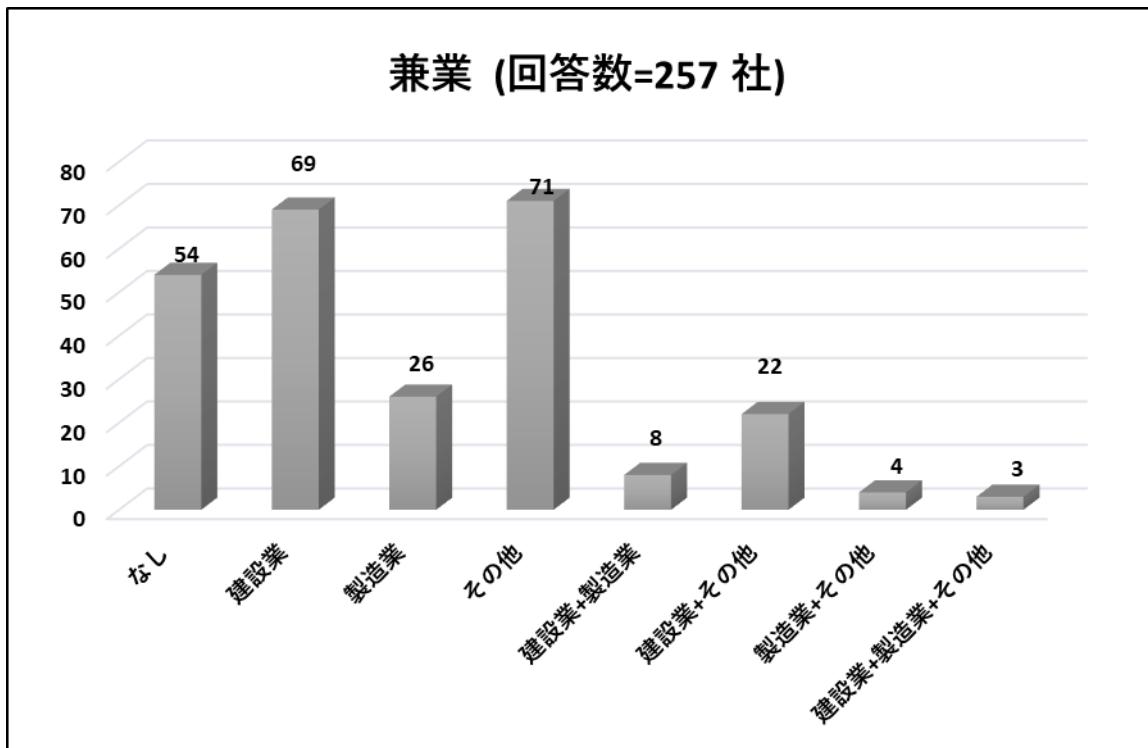
地域	企業数	構成比
北海道・東北	36	14.0%
関東	48	18.7%
信越・北陸	27	10.5%
中部	33	12.8%
近畿	25	9.7%
中国	21	8.2%
四国	28	10.9%
九州・沖縄	39	15.2%
合計	257	100.0%

② 業種別構成



該當業種	企業数	構成比
収集運搬	65	25.3%
中間処理	44	17.1%
最終処分	3	1.2%
収集+中間	115	44.7%
収集+最終	6	2.3%
中間+最終	3	1.2%
収集+中間+最終	21	8.2%
合計	257	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	54	21.0%
建設業	69	26.8%
製造業	26	10.1%
その他	71	27.6%
建設業+製造業	8	3.1%
建設業+その他	22	8.6%
製造業+その他	4	1.6%
建設業+製造業+その他	3	1.2%
合計	257	100.0%